

助成受給団体	相馬地区防犯協会連合会
事業の名称	応急仮設住宅における犯罪被害防止活動
実施期間	平成24年10月1日 ～ 平成24年10月29日
事業内容 本事業は、相馬地区防犯協会連合会管内23ヶ所の応急仮設住宅において、管轄警察署等による巡回パトロールや立ち寄り警戒、各種広報活動等が積極的に行われているが、仮設住宅の建設箇所が多数に及ぶため警察官の常駐による警戒活動が困難な現状にある中、被災者の代表者等から「警察官の人型パネルを設置してもらいたい」との要望が寄せられたことに端を発して始められた。 震災復興は、地域の経済を発展させることが必要不可欠であることから、地元企業である「有限会社 ライオン堂」に等身大の警察官が警戒活動をしている姿の立て看板の作成を依頼し、相馬市、新地町応急仮設住宅防犯・交通連絡会の役員と協議を重ねながら看板に描く力強い警察官の姿を決め、描かれた警察官は人の絆や入居者の安全を守るという強い思いを込め「絆 警太郎(きずな けいたろう)」と命名され、立て看板が完成した。 完成後、各応急仮設住宅において、組長立会いの下、より防犯効果の高い位置を確認しながら設置した。	
事業の成果 震災復興が長期化し、被災者は不安を感じながらも応急仮設住宅での生活を余儀なくされている中、警察官の立て看板の設置は、組長を始めとした入居者から「警察官の立て看板の防犯効果は大きいと思います。これで私たちも安心して暮らせます。」との反響が寄せられるなど、被災者の安心感の醸成に大きく貢献した。 さらに本事業は、被災者の要望に端を発し始められ、自分たちの考えが実現したことにより、応急仮設住宅居住者の自主防犯意識の高揚にも繋がった。	
今後の課題 被災者の応急仮設住宅への入居は、今後も長期化が予想されることから、入居者の安全・安心感の維持には、新たなニーズも求められることが予想され、適時これに応じた施策を検討していきたい。	

